



コーちゃん・オーちゃんの 「見つけた！豊岡元気人」



総合学習の一環で草木染めに挑戦した森本
中学3年生と竹野南里山の会の皆さん



人気の高い「シイタケのホダ木作り教室」



参加者を前に事業の説明をする福丸さん

森林の体験活動を提供し 地域の活力を生み出す元気人

森林の体験活動を通して自然の営みを学び、心の豊かさを高めるため、さまざまな活動を通じる元気な男性を紹介します。

福丸嘉明さん(74歳)竹野町御又

眼下に竹野川が流れ、川のせせらぎの音と、小鳥たちのさえずりがとても心地良い竹野南森林公園。そこは、透き通るような空気とマイナスイオンで満たされています。

竹野南里山の会設立

市が竹野南森林公園を整備する際、この公園をどう活用していくかを検討するために立ち上がったのが竹野南里山の会(整備当時は「竹野21世紀の森づくり事業管理運営検討協議会」)。福丸嘉明さんは、この会の会長を務めています。「自分たちができることをやろうと、地元に住む同年代の仲間9人が集まりました」と当時を振り返ります。

福丸さんらは、平成19年4月にオープンしたこの公園で木や花、草などの自然素材を使った行事を行っていきこうと「森の教室」を主テーマに、年6回の定期事業を始めました。

木の子の教室開催

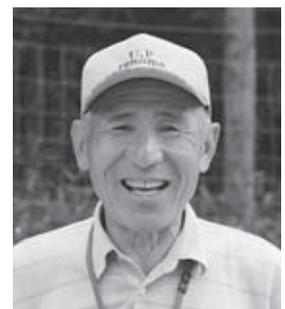
初めに「木の子の教室」と題したシイタケのホダ木作り教室を行いました。参加者は木に電動ドリルで穴を開け、シイタケの菌の植え込みに挑戦します。次に「炭作り体験教

室」を行いました。参加者は木を伐採して適当な大きさに切り、窯入れから炭焼きまでの行程を体験します。「参加者から『楽しかった。また参加したい。収穫が楽しみ』などと言われ、やってよかったです」と言いましたね」と話す福丸さん。その後木工教室や草木染め教室、桜の植樹体験などが次々と新しい事業を展開しています。「今まで行った教室の中ではシイタケのホダ木作りが一番人気でしたね。20人の募集に30人の申込みがありました。実際にシイタケを植え付けました木を2本持ち帰ってもらいます。後々楽しめるところが魅力なんですよ」と福丸さんは笑います。

また教室では、昼食にすくも(もみ殻)で炊いたご飯をおにぎりにして食べています。これが「おいしい」と大好評。他ではなかなか体験できないことを実践していることも魅力の一つなのでしょう。

楽しいから続けられる

定期事業の他にも中学生の総合学習として草木染めや、保育園児にクリスマス飾り作りの指導をしています。「みんな



▲笑顔が元気な福丸さん。趣味はゴルフ・囲碁・野菜作りと多種多様

仲間同士の「阿吽の呼吸」

一番の驚きは、教室の運営に当たり、会の中で指示系統が何もないこと。会員それぞれが指示がなくてもすべきことを行う「阿吽の呼吸」がそこに存在していました。「9人それぞれに特技があるんですよ。料理が得意な人、経理が得意な人、話すことが得意な人：自然に役割分担ができています」と話す福丸さん。「これからはもっと地元で解け込み、同じ志を持つ若い方にも入ってもらいたいですね」と目を輝かせました。

※関連記事24ページ掲載

広報マンがやってきた！

幼稚園編

19

田鶴野幼稚園

(豊岡)

〈園児16人〉



田鶴野幼稚園は、周りを田んぼに囲まれ、コウノトリが舞い降りてきたり、園にはカメやメダカ、ウサギなどの動物がいて、とてもにぎやかです。7月6日、七夕製作が行われましたので、その様子をのぞいてみました。

最近はじめました

園では、最近、絵本との出会いを通して、思いやりのある心を育むため、数人の園児たちが交代で自分の好きな絵本をみんなの前で紹介し、その後、読み聞かせを行っています。

園にはたくさんのお絵本があり、それぞれ好きな絵本の種類が違います。しかし、園児が絵本を読む間は、皆静かに聞いていました。絵本に興味が出てきたかな。



いっしょに作ろう！

さあ、七夕の飾りを作ります。園児たちは、ちょうちんや輪っかなどの飾りを先生に教えてもらいながら作ります。はさみで形どおりに切ったり、



のりでくつつけたり、みんな器用に、歌を歌いながら楽しそうに作っていました。



作り方が分からない園児がいれば、周りの園児が「ここはこうするんだよ」と優しく教えます。

飾り付け

翌日に七夕の集いを控えているので、作った飾りは早速、近くの金比羅神社でもらってきたササに飾り付けていきます。ちょうちんなどの飾りのほか、将来の夢などを書いた短冊も飾りました。「お花屋さんになりたい」など…。七夕の集いが終わると、作ったちょうちんや輪っかに取っ手を付けて家に持って帰ります。ちゃんとお父さん、お母さんに見てもらおうね。



笑顔の輪

生け花ボランティアグループ
健康生活ネットワーク(豊岡)

移転前の市役所本庁舎、階段の踊り場や2階通路、市長室などに、年中美しい花が生けられていたのをご存じですか。

6月27日も多種多様な花が持ち寄られました。カラー、ギボウシ、カスミソウ、ユリ、ルドベキア、ストケシア、ゴテチャ、シモツケソウ、キンギョソウ、ペンタス、ナナカマドなど、季節の花です。



毎週月曜日(祝日の場合は翌日)、市役所に集まり、花を生けるボランティア活動を10年間続けているのは、「健康生活ネットワーク」の皆さんです。メンバーは6人で、それぞれ花を持ち寄り、現在は、東庁舎別館2階通路や市長室、南庁舎別館1階のカウンターを生け花で飾っています。

グループの代表者の秦 久恵さんは「花から元気をもらうので、来庁者の皆さんにも花のエネルギーを伝えたいと思います。市長室に來られた方が花を見て、豊岡に好印象を持っていただけたらうれしいです」と話します。

買いますが、お花代をカンパしてくださる方もいらつしやるんです」とも聞きました。市役所にお越しの節は、ぜひ、生け花の前で足を止め、季節を感じ、心とんでください。